

性暴力から子どもを守る安全・安心な学校づくりに向けて

加曽利中学校の取組

性暴力を生まない環境の整備を進めています

①校内死角点検を実施しています

毎年4月に管理職が校内死角点検を実施し教育委員会に報告しています。また、点検後、校内の死角(入りやすく、見えにくい場所)を職員に周知し、学校内での空き教室等の管理についてのルールの徹底を図っています。

「死角」をゼロに近づけるための対策の徹底

- ・空き教室は施錠をする。
- ・鍵の管理を管理職等において一元管理する。
- ・廊下から教室が見えるようにする、ドアを隠す掲示物は貼らない

★校内死角点検



屋上への階段に規制線を張ったり、立ち入り禁止の看板を立てたりし、入りにくい状況を作っています。



空き部屋の鍵を施錠して、勝手に立ち入れないようにしてあります。

体育館の管理



体育館1階
武道場付近
の巡回もし
っかり行っ
ています。

鍵の管理の一元化

物理的死角をゼロにするために、空き教室等の施錠を行っています。
また、鍵の管理を管理職(教頭)が一元管理し、鍵の使用者、時間、場所等が特定できる形にしています。

②複数の職員による定期的な見回りを行っています

- ・管理職が授業時間中に各教室を見回ります。
その際に、各担任が居るべき場所に所在するか、特定の児童生徒が担任と行方不明となっていないか確認しています。
- ・死角となっているフロアや空き教室等の見回りを実施します。その際は、廊下等外からの目視ではなく、実際に中に入り状況を確認しています。

死角点検 毎年4月実施 職員周知

校内死角点検の強化

入りやすく

見えにくい

怪しまれることなく、
簡単に子供に近づける場所

+

目撃されにくく、発見及び
通報されることがなさそうな場所

=

危険

UP!

複数の教員による不定期な見回り

鍵の管理の一元化

保護者や地域への周知

教育委員会による点検

児童生徒からの相談体制の充実を図っています

①子どもにここをサポートを実施しています

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/kyoikusomu/kyoikushokuin/nikoniko.html>



相談員が子どもたちの悩みや不安などの相談にのる「子どもにここをサポート」を実施しています。相談内容は体罰、性的な嫌がらせ、いじめなどについてです。相談用紙は年4回（4・7・10・12月）に配付します。また、児童生徒がいつでも相談できるように相談用紙は各学校に常置されています。公民館にも置いてあります。千葉県教育委員会のHPからダウンロードもできます。